Prologue

属性を持たなくなり始めている都市に住む人間は、物理的に高密度な居住区を形成しているが、その意識的領域はすでに地域から離脱して高度に分断されつつある。
隣人は「隣人」というだけの記号に過ぎなくなっており、互いに何の情報も共有していない不透明な関係が現在の都市居住環境の大きな問題の一つと言える。

Concept

ガラスの壁をつくる。

隣家や道路との間に物理的境界線として存在するブロック塀を、

透明性の高いガラス素材とする。

その壁は、ガラスの透過性質によって、

隣人との間に曖昧な領域（[illegible] domain）

を生じさせてしまう。

しか[illegible]

[illegible]

互いの存在[illegible]ことを認識させ[illegible]

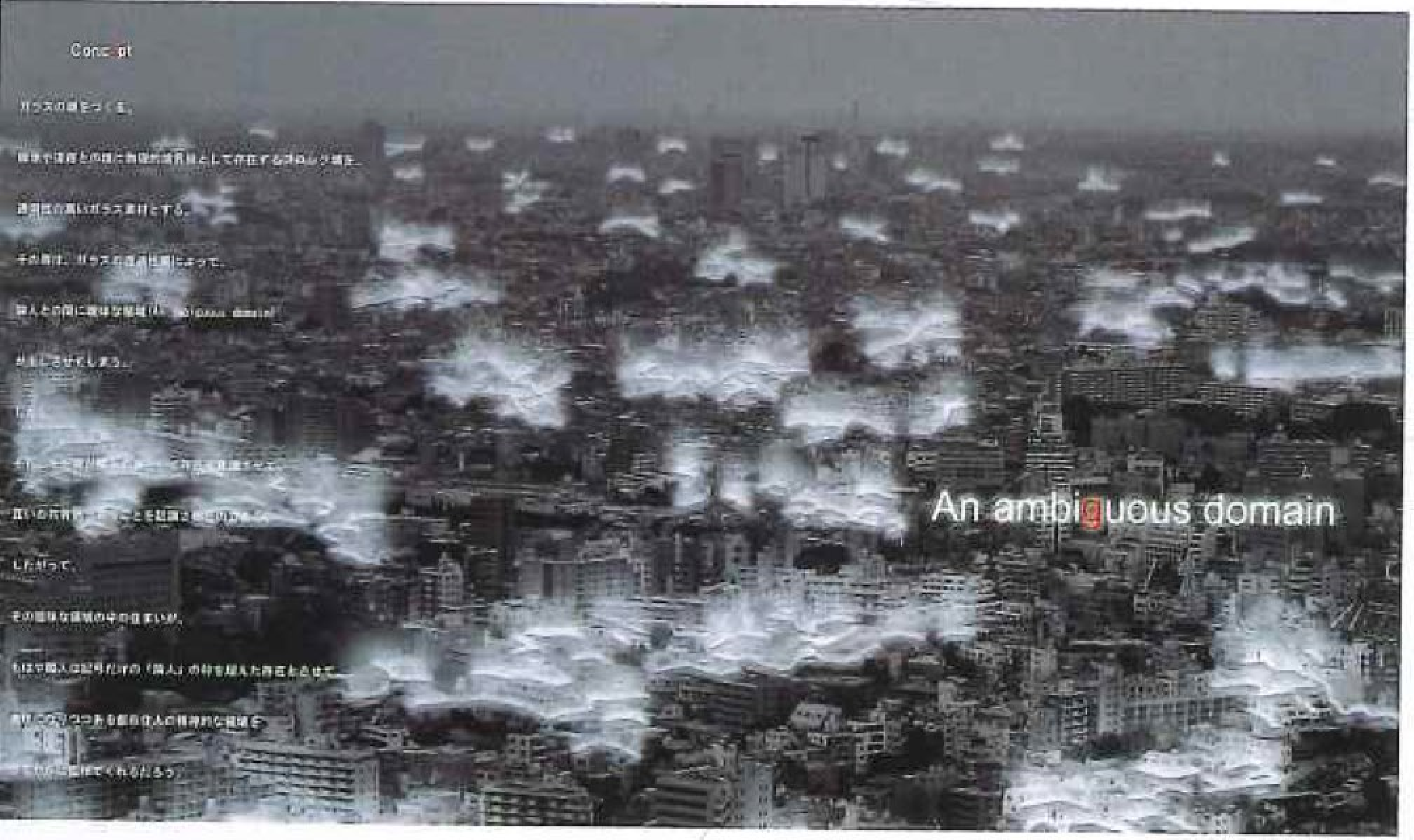
したがって、

その曖昧な領域の中の住まいが、

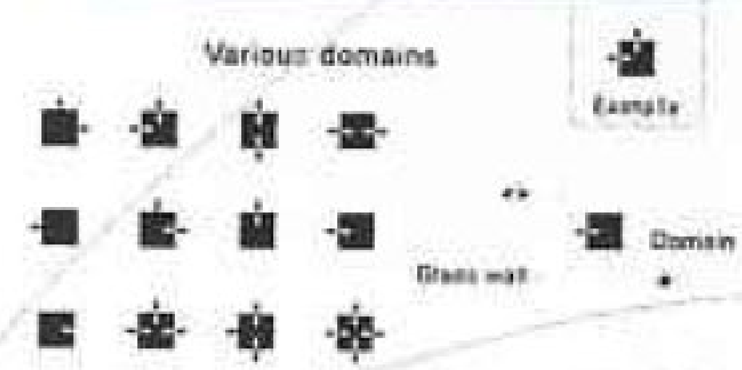
もはや隣人は記号だけの「隣人」の枠を超えた存在とさせて

希薄になりつつある都市住人の精神的な領域を

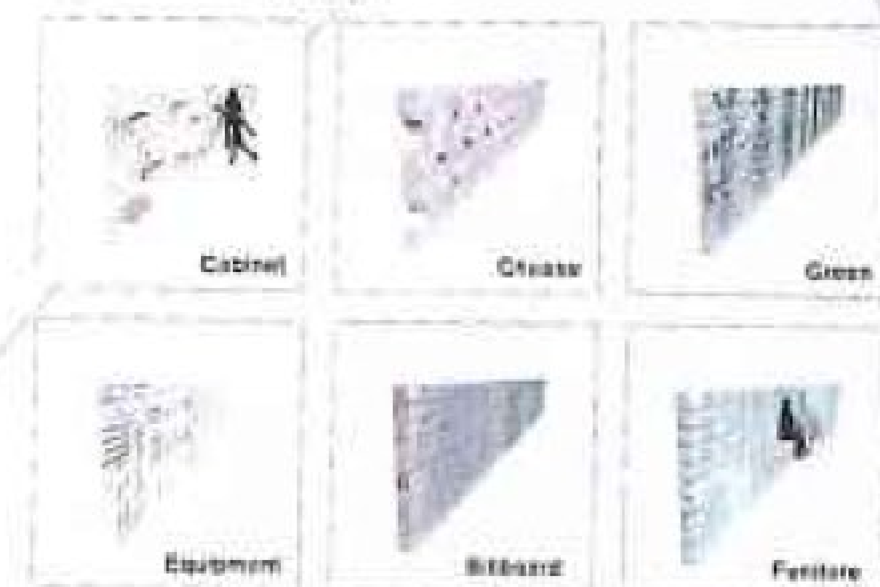
[illegible]拡げてくれるだろう。



Various domains



Version



Domain

▲ ガラス壁の広がり（物理的な領域）
▼ 精神領域の広がりと離向（精神的な領域）